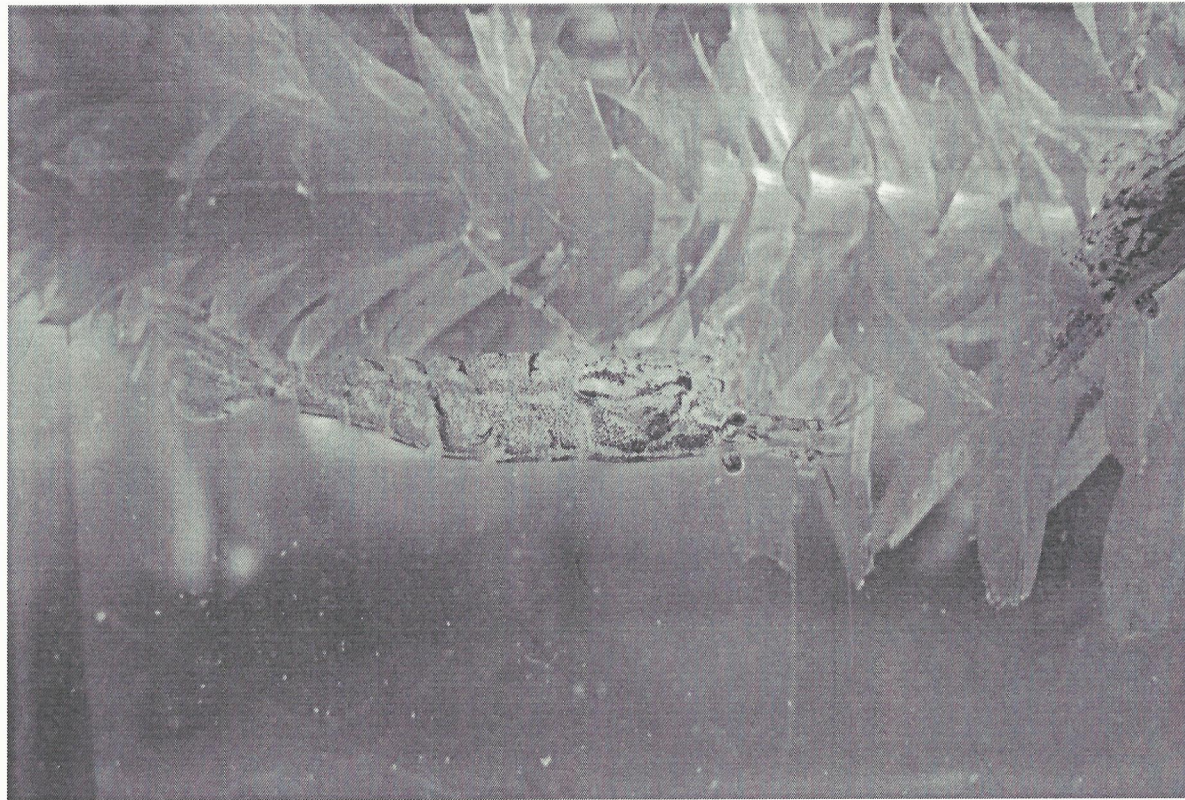


大宝小 中の井川の自然を考える



いきものふれあい室・生物多様性保全活動支援センター
青木 繁

生き物を通して中の井川の 自然を考える

自分で飼ってみたいな。

食べてみたいな。

べつに、なんともおもわないな。

あんまり生き物がふえたら
困るな。

なんて名前なのだろう。図鑑
で調べてみよう。

昔も今も同じ生き物が
いるのだろうか？

どうして、ここにこんな生き物
がいるのだろうか？

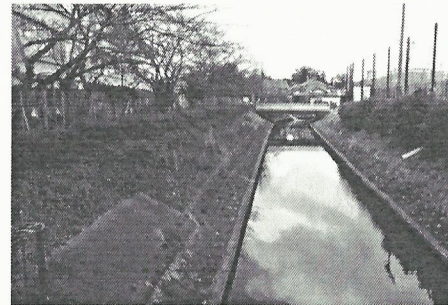


他にどんな生き物がいるか
もっと調べてみたいな。

生き物のこと、友達やお
父さん、お母さんに教え
てあげよう。

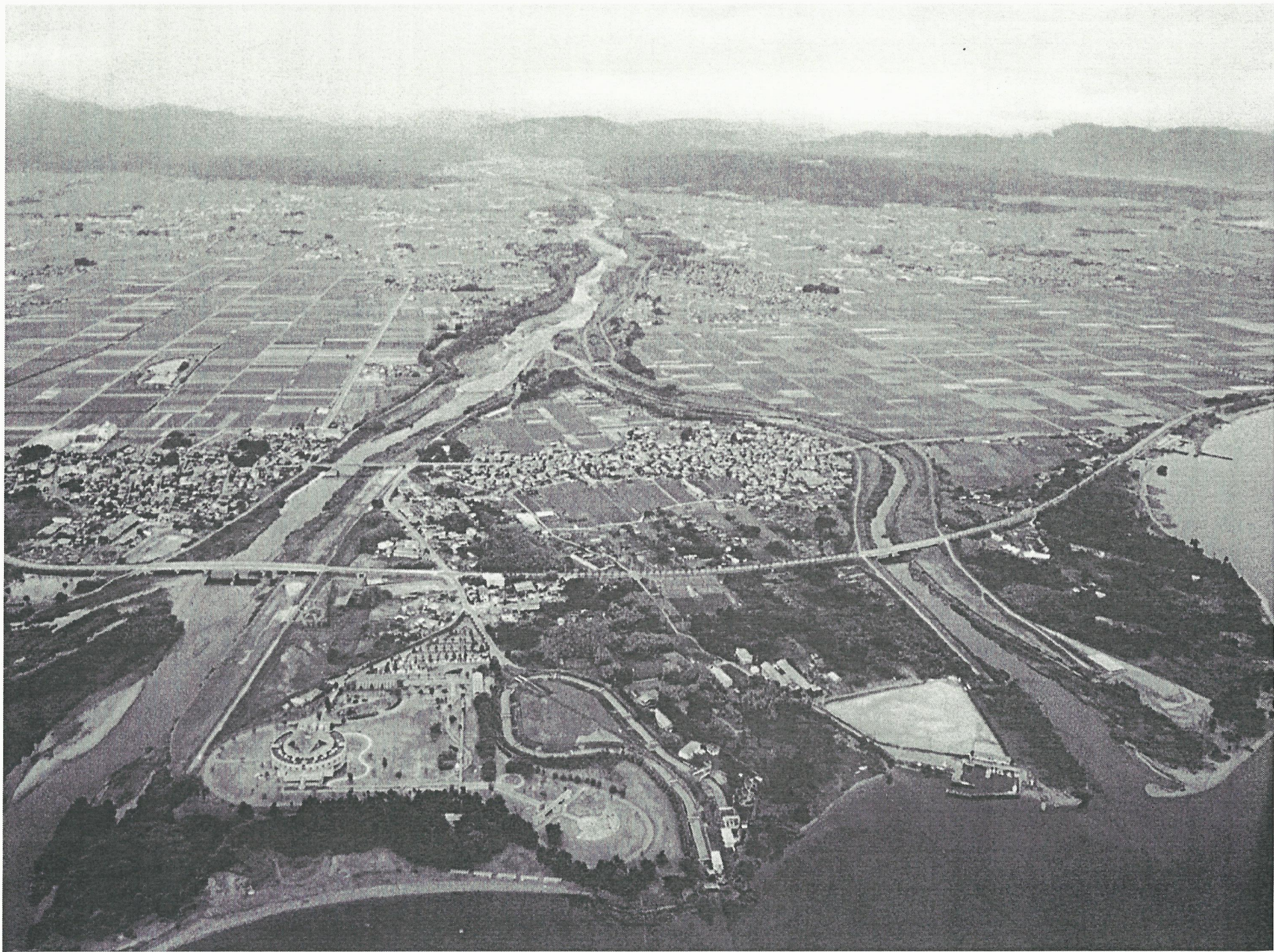
滋賀県の他の場所にどんな
物がいるか調べてみたいな。

ホタルもいるのかな？



カもたくさんいるのかな？

生き物がたくさんいるなんて
いやだな



川ってどんな所？



上流

周りには森がある
川幅は狭い
水が少ない
冷たい
きれい



中流

周りには田畑がある
広い河原がある
水の量が上流より多い
そう冷たくはない
きれい

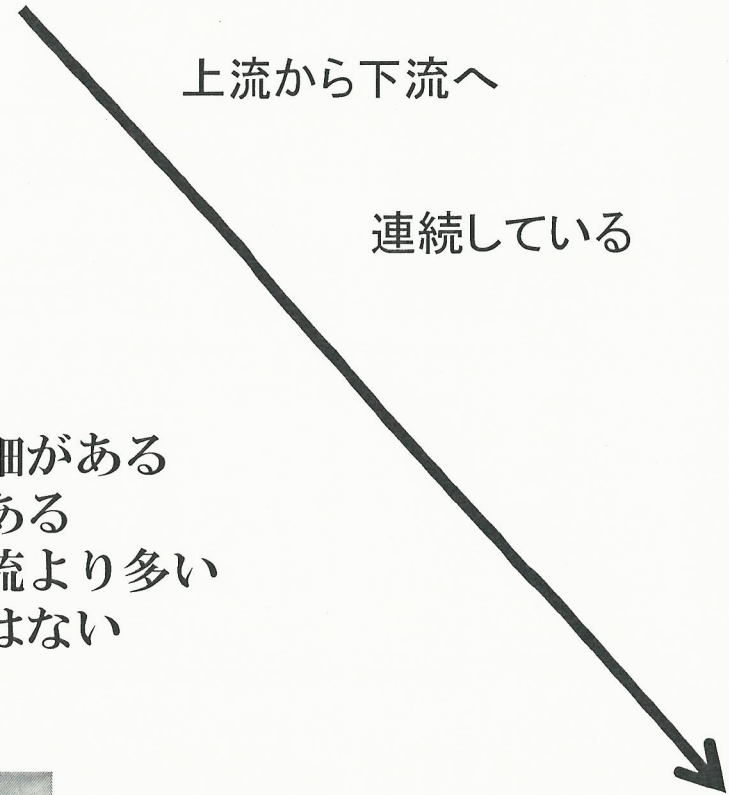


下流

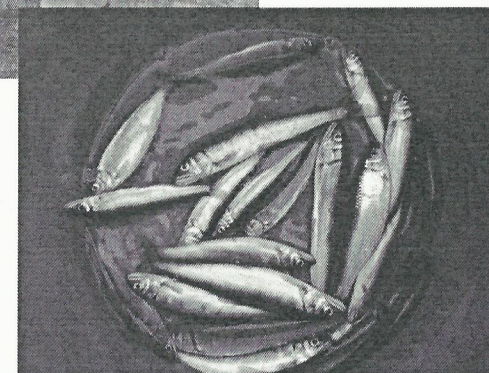
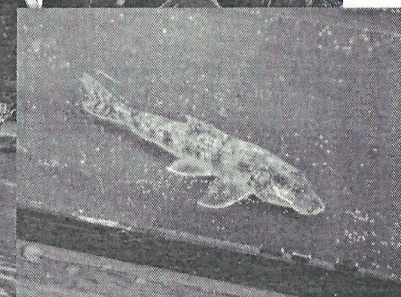
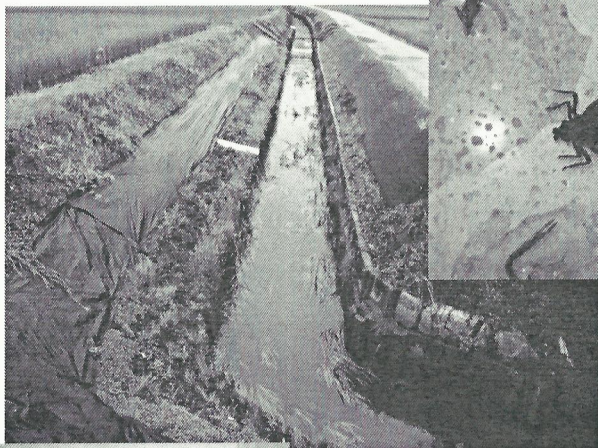
人家が多い
広い川幅と広い河口
水の量が多い
生ぬるい
汚いところもある

上流から下流へ

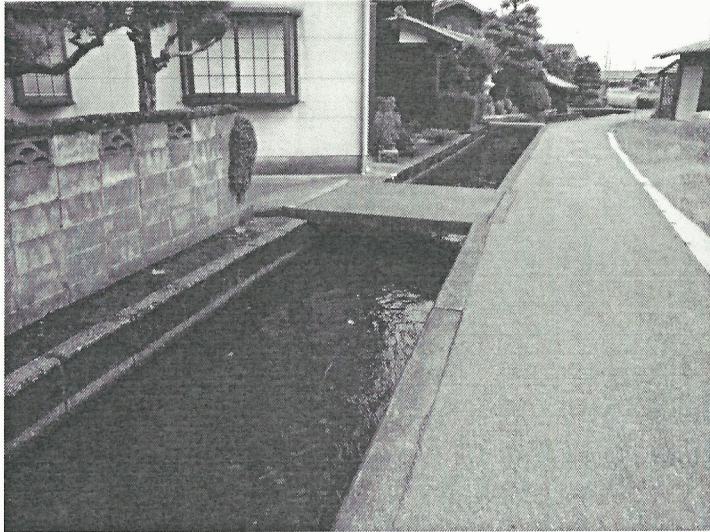
連続している



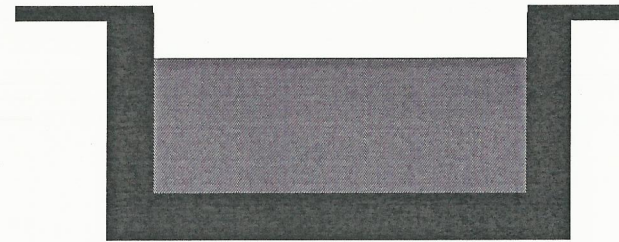
いろいろな川



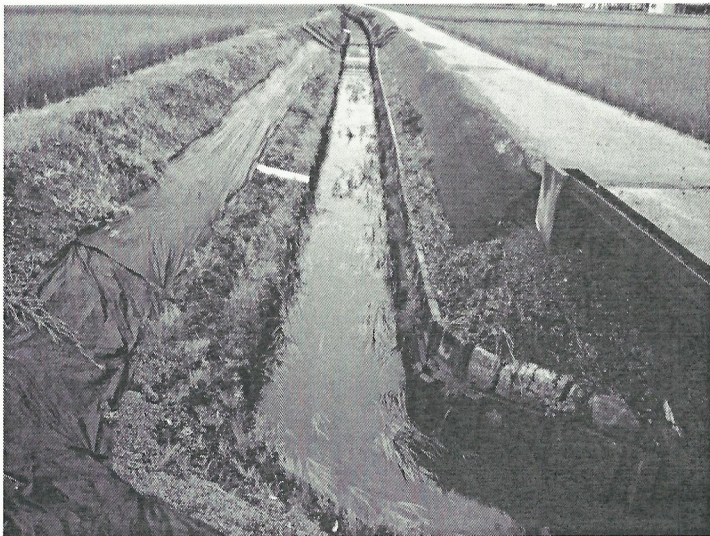
川（水路）の環境



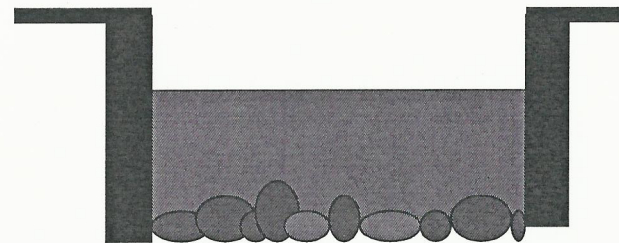
3面がコンクリートに囲まれる川



3面張り



川底は自然のままの川



川底は石や砂



土を掘っただけの川(素ぼり)



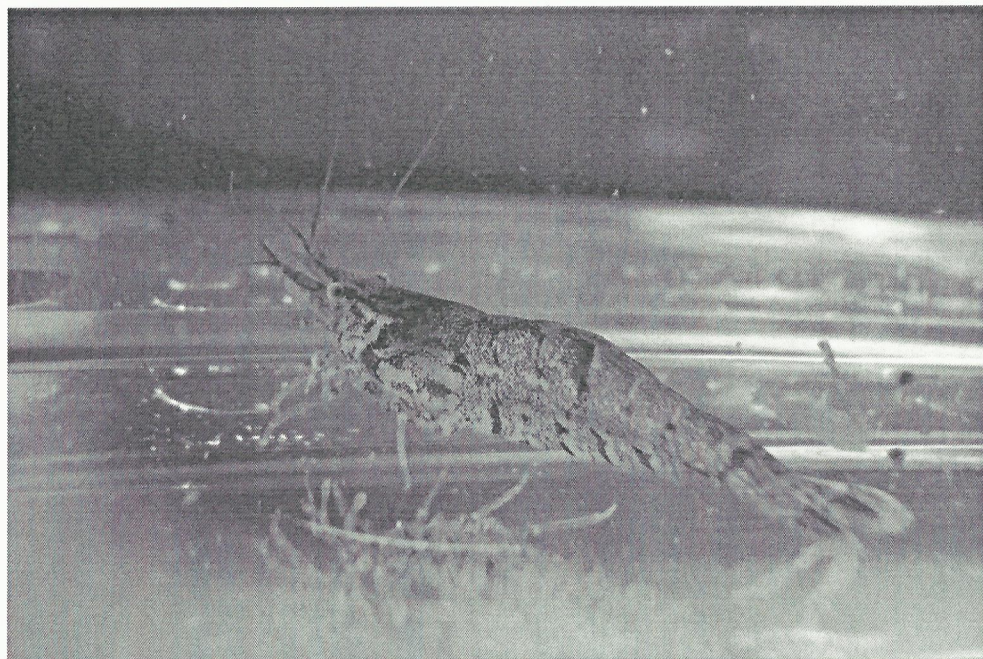
川底にはどろがたまる



川の縁にはいろいろな植物が生える

中の井川の生き物たち

NO	種名	分類群	棲息密度	備考
1	タモロコ	魚類	△	
2	タモロコ	魚類	△	幼魚
3	カワムツ	魚類	△	幼魚
4	ヌマエビ類	甲殻類	◎	
5	チリメンカワニナ	貝類	◎	
6	シジミ類	貝類	△	マシジミ or タイワンシジミ
7	ヒメタニシ	貝類	○	外来種
8	アメリカザリガニ	甲殻類	○	外来種
9	ヤゴsp	昆虫類	△	



ヌマエビ (ヌマエビ類)

池や沼にすんでいることからこの名がついたが、田んぼや水路にも多い。山からの水がまじりあう、比較的水質のよい場所にすむ。

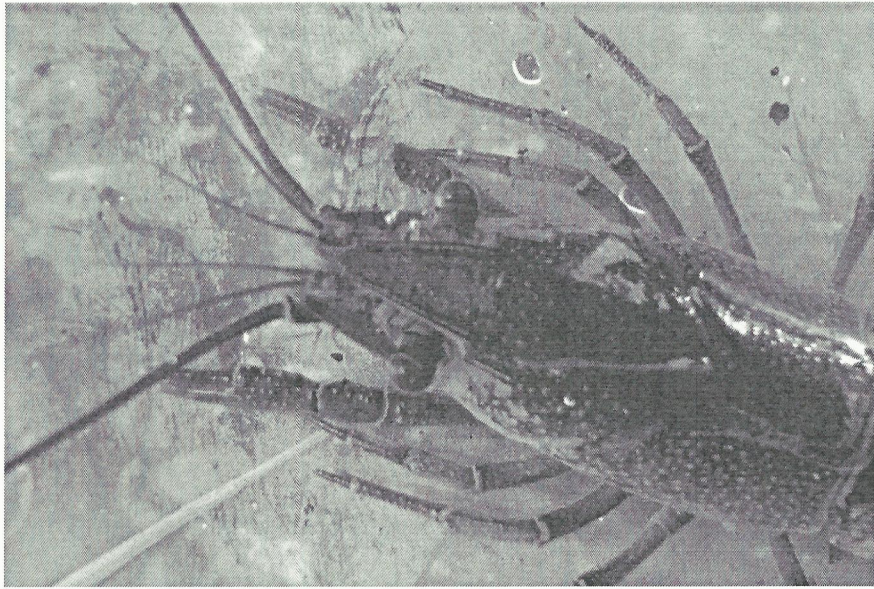
日本にはヌマエビの仲間が20種ほど生息する。

環境変化には敏感。

エサは藻類。

飼育は比較的容易だが、寿命も短い。

中の井川には多い。

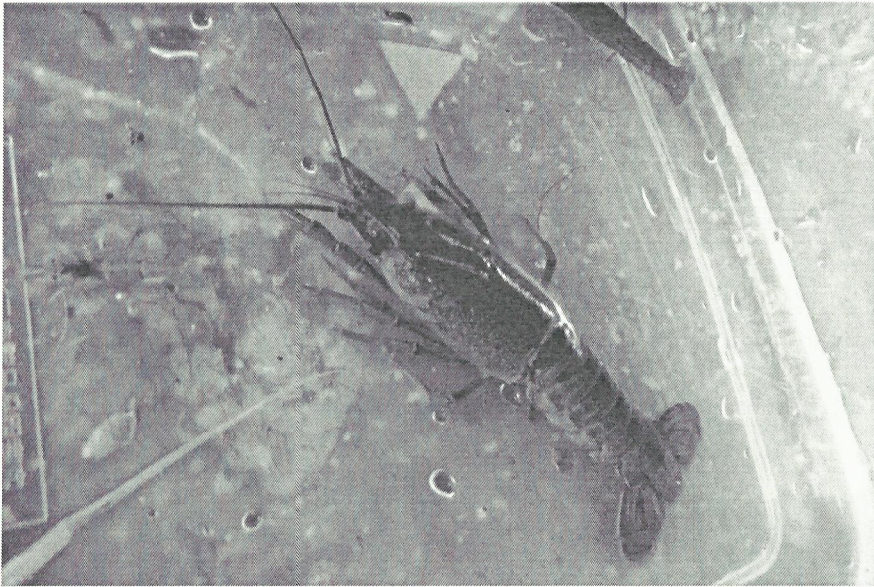


アメリカザリガニ

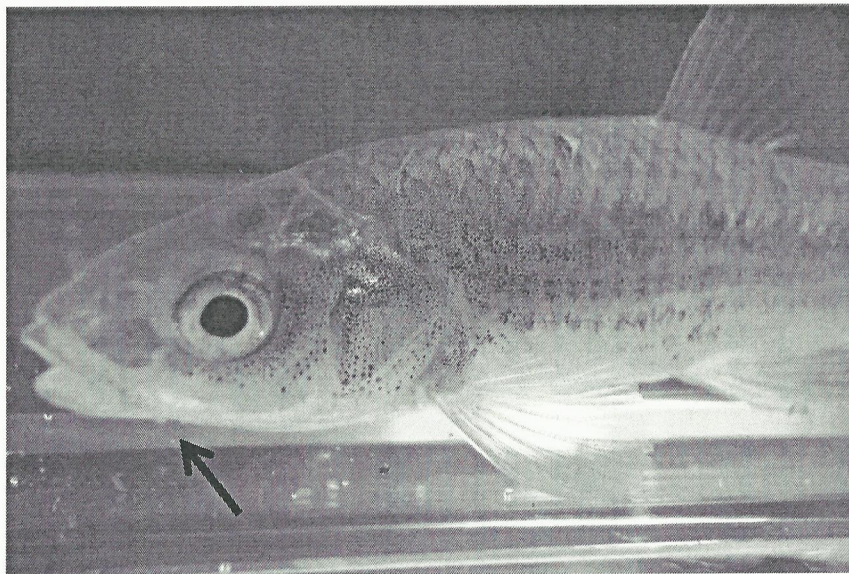
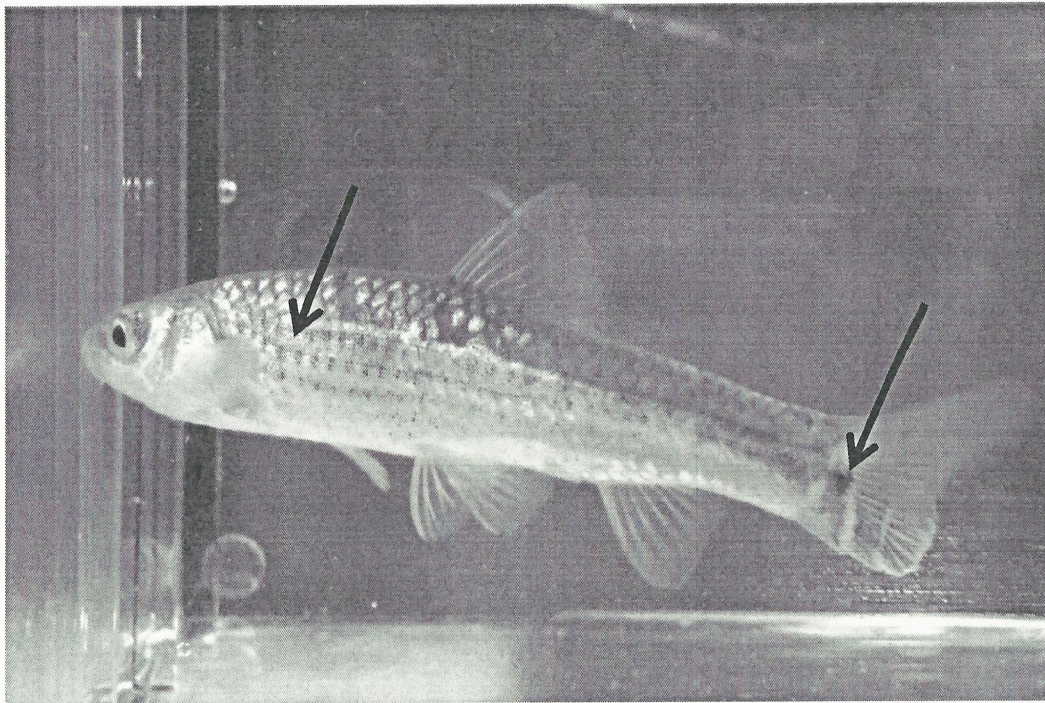
1930年頃、ウシガエルのエサとしてアメリカから持ち込まれた、外来生物。田んぼ、水路、川の中流～下流に見られる。

300～400個の卵を産み、子ガニが生まれる。子ガニは、しばらく親のおなかに抱かれるようにして暮らす。

雑食性で、魚のえさなどもよく食べ、飼育は簡単。



タモロコ

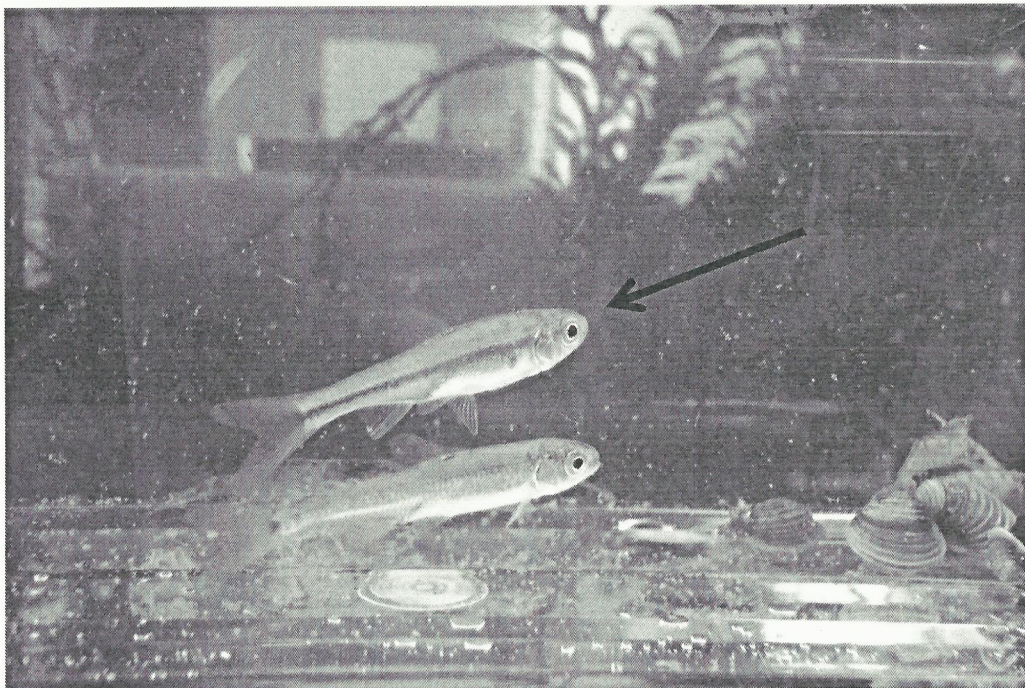


川の中流から下流、ため池や水路などに棲んでいる。比較的流れがゆるやかな場所に多い。

水草、水生昆虫、浮遊動物、底生動物などを食べる。

ひげがあり、時には田んぼで産卵する。尾ひれの付け根に黒い斑点がある。

最近は数が減っている。

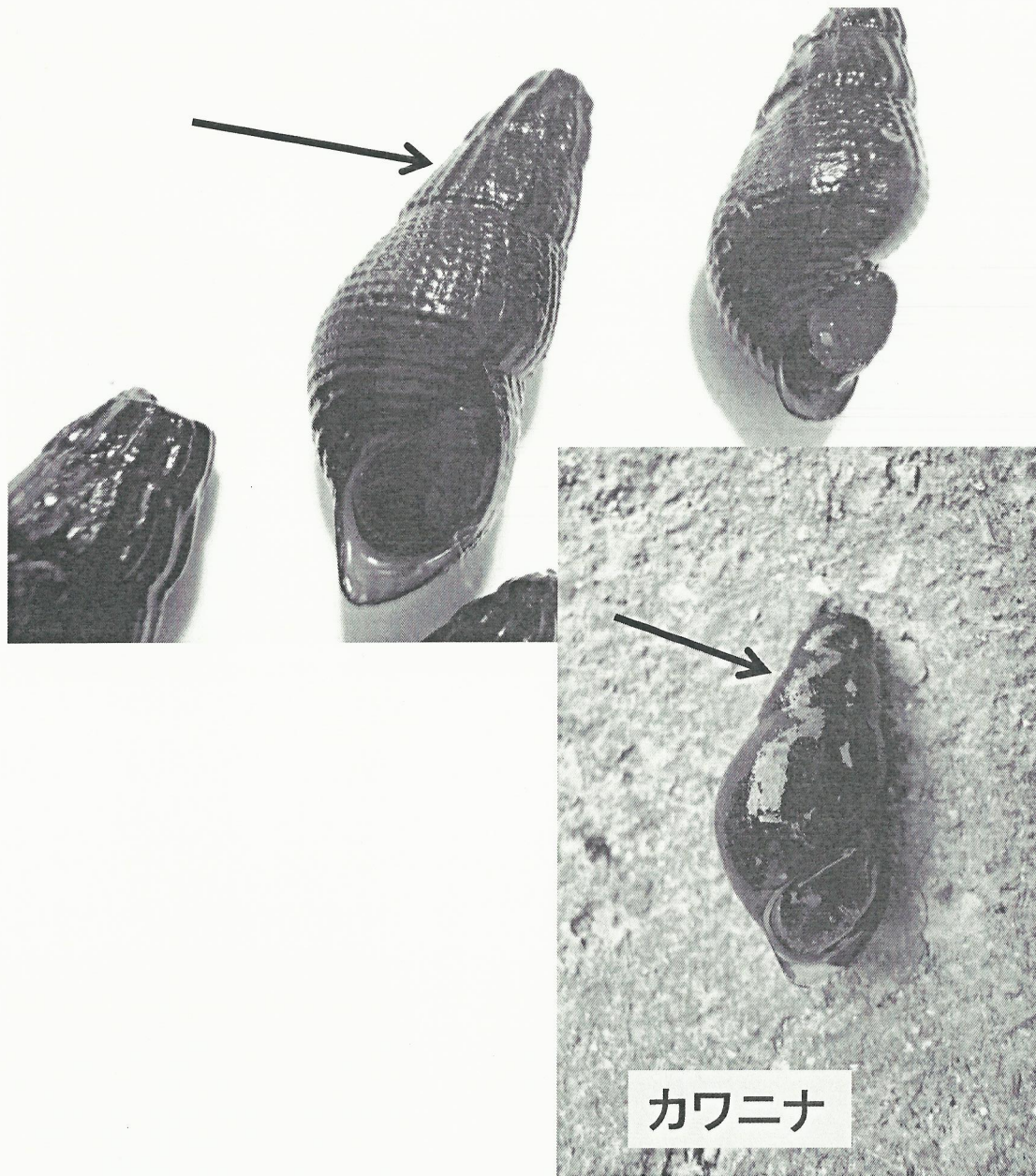


カワムツ

カワムツBと呼ばれていたもの

川の下流から中流、水路
にも生息し、3面張りの水路
でもよくみかける。

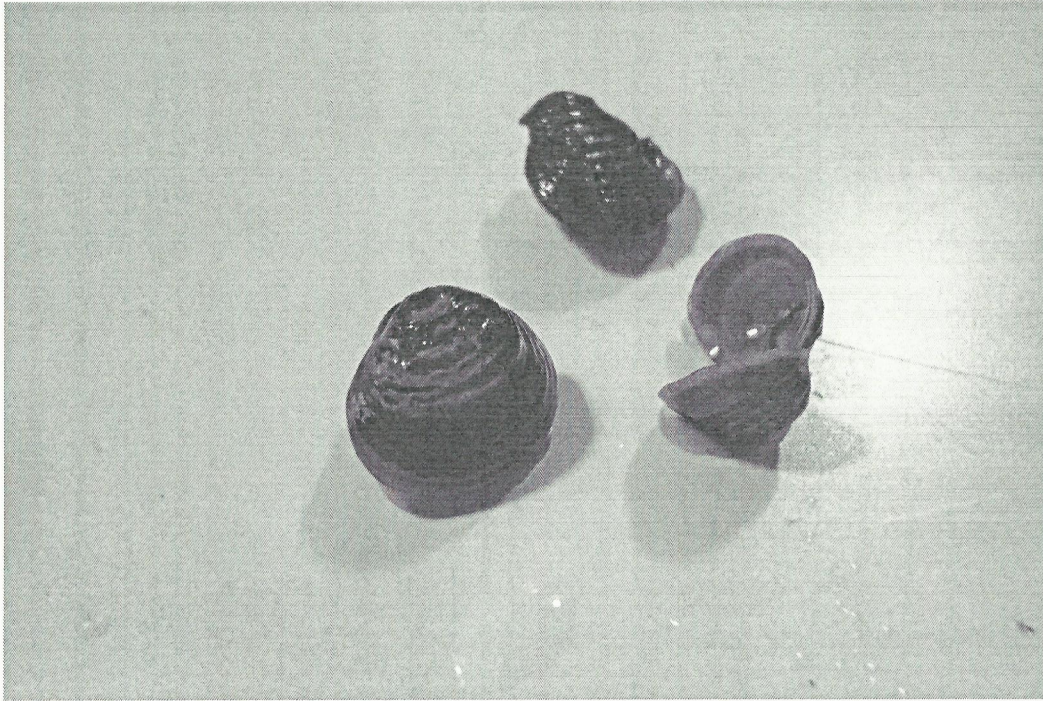
チリメンカワニナ



川の下流からびわ湖に棲息する。ちりめんに似た模様があることから名づけられた。

チリメンカワニナの方が下流域に多く、川の流れの緩やかなところに棲む。

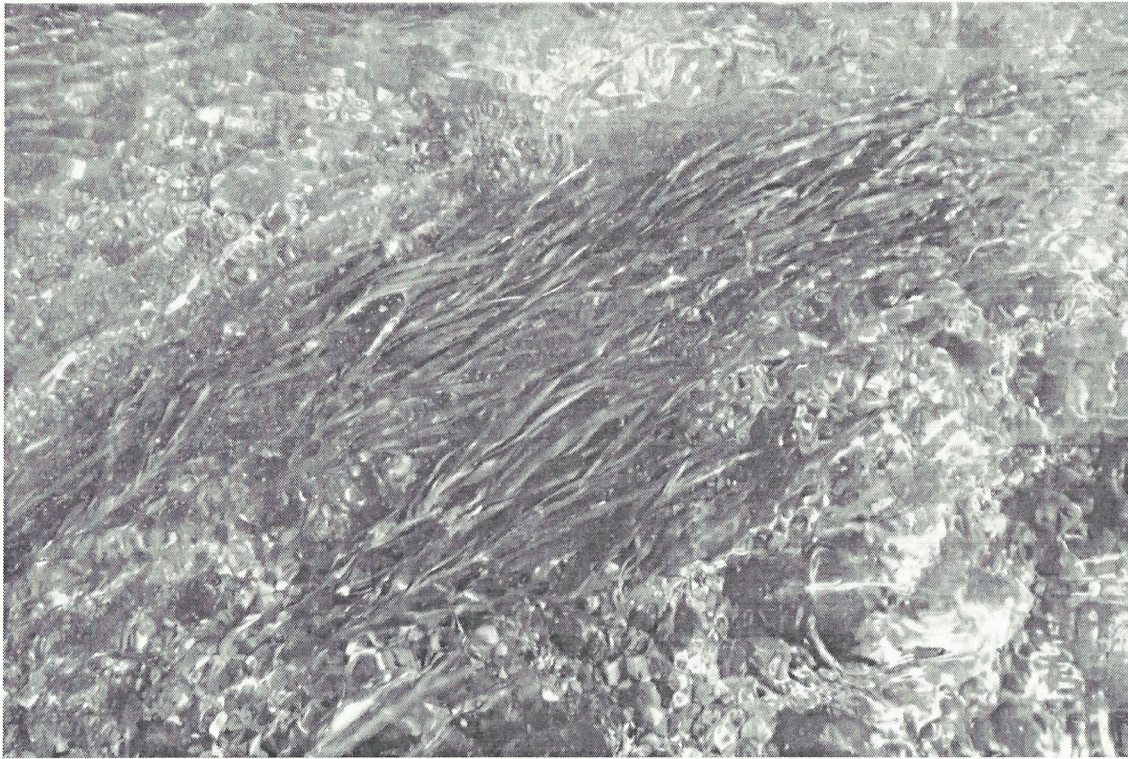
ホタルのエサとなる。



シジミ類

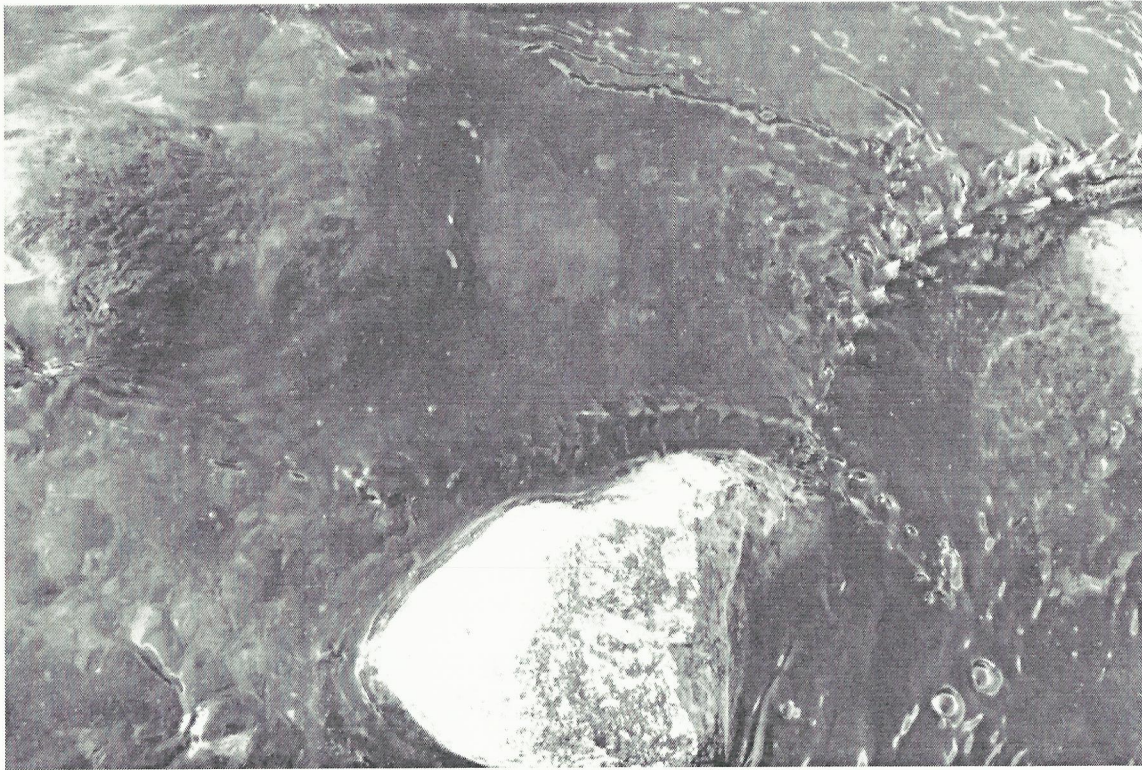
採集した個体では判断できなかったシジミ類。

マシジミまたはタイワンシジミと思われるもの。タイワンシジミは外来生物。



ヤナギモ

川の下流から中流の、
流れのある水路に生育。
時に群生する。



オオカナダモ

大正時代、実験材料として日本に持ち込まれたものが繁殖。

野外で繁殖が確認されたのは1961年で、びわ湖が最初である。

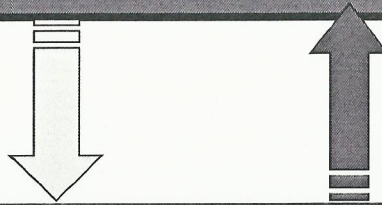
比較的流れの緩やかな川や水路、やや水質の悪いところに多い。大繁殖する。

水生生物を調べると……

水生生物の中で、サワガニ、ゲンゴロウ、タニシなど、一生を水の中で過ごすものと、トンボ、カワゲラ、カゲロウなど、一生のある時期を水の中で過ごすものがある。

そして、これらの生物は、それぞれの種にとって好ましい環境に生息している。さらに、その環境は、水質、川底の質、流れの速さ、河畔林(川のまわりの森林)の状態など、様々な要因が大きく関係している。

川の中にどんな生きものがあるかが分かったら……



その川の環境がわかる

中の井川の生き物リスト 冬

NO	種名	分類群	棲息密度	備考
1	タモロコ	魚類	△	
2	タモロコ	魚類	△	幼魚
3	カワムツ	魚類	△	幼魚
4	ヌマエビ類	甲殻類	◎	
5	チリメンカワニナ	甲殻類	◎	
6	シジミ類	甲殻類	△	マシジミorタイワンシジミ
7	ヒメタニシ	甲殻類	○	外来種
8	アメリカザリガニ	甲殻類	○	外来種
9	ヤゴsp	昆虫類	△	

マキノ町浦の生き物リスト 夏

NO	種名	分類群
1	カワニナ	貝
2	サワガニ	甲殻類
3	ハグロトンボ	昆虫
4	コオニヤンマ (幼虫)	昆虫
5	フタスジサナエ (幼虫)	昆虫
6	オオヤマトンボ (幼虫)	昆虫
7	サホコカゲロウ	昆虫
8	オニヤンマ (幼虫)	昆虫
9	ヤゴsp	昆虫
10	カワムツ	魚
11	タカハヤ	魚
12	タナゴsp	魚
13	ドジョウ	魚
14	ドンコ	魚
15	トノサマガエル	両生類
16	ツチガエル	両生類
17	イモリ	両生類

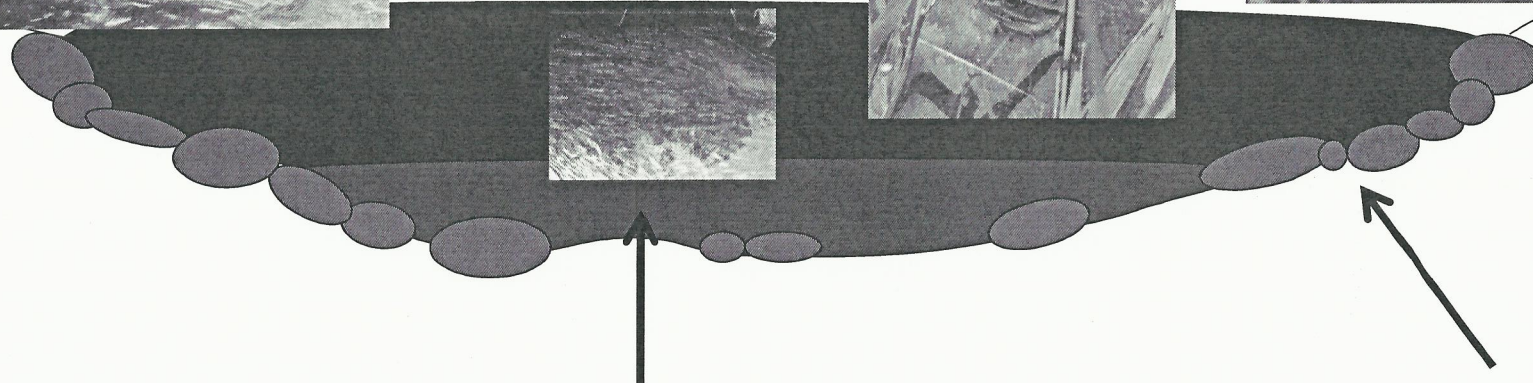
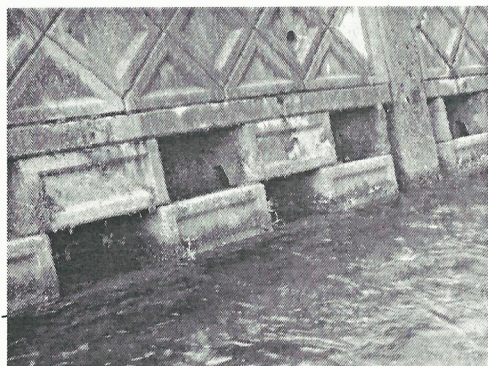
安曇川町下古賀生き物リスト 夏

NO	分類群	種名	備考
1	貝類	カワニナ	
2	貝類	ヒメタニシ	外来種
3	貝類	マルタニシ	
4	貝類	モノアラガイ	
5	甲殻類	アメリカザリガニ	外来種
6	甲殻類	サワガニ	要注目種
7	昆虫類	アカネ類 (ナツアカネ、アキアカネ)	幼生
8	昆虫類	アゲハチョウ	
9	昆虫類	アジアイトンボ	
10	昆虫類	アメンボ	
11	昆虫類	イトトンボsp	
12	昆虫類	イナゴsp (コバネイナゴ)	
13	昆虫類	オオアメンボ	
14	昆虫類	オニヤンマ	幼生
15	昆虫類	カメムシsp	
16	昆虫類	ガムシ類幼生	
17	昆虫類	キチョウ	
18	昆虫類	クロゲンゴロウ	希少種
19	昆虫類	ゲンゴロウ類	幼生
20	昆虫類	コオニヤンマ	
21	昆虫類	コシマゲンゴロウ	
22	昆虫類	コヤマトンボ	
23	昆虫類	シマアメンボ	
24	昆虫類	シマゲンゴロウ	
25	昆虫類	ショウリョウバッタ	
26	昆虫類	タイコウチ	
27	昆虫類	タバサナエ	幼生
28	昆虫類	サナエトンボsp	
29	昆虫類	トンボsp	
30	昆虫類	ハグロトンボ	
31	昆虫類	ハグロトンボ幼生	
32	昆虫類	ハラビロトンボ	
33	昆虫類	ヒカゲチョウ	
34	昆虫類	ヒメゲンゴロウ	
35	昆虫類	ベニシジミ	
36	昆虫類	ホソヒラタアブ	
37	昆虫類	ミスカマキリ	
38	昆虫類	モンシロチョウ	
39	昆虫類	ルリシジミ	
40	魚類	カマツカ	
41	魚類	カワムツB	
42	魚類	ツチフキ	
43	魚類	トウヨシノボリ	
44	魚類	ドジョウ	
45	魚類	ドンコ	その他重要種
46	魚類	ヒゴイ	
47	魚類	カナヘビ	
48	魚類	イシガメ	
49	両生類	アマガエル	
50	両生類	ツチガエル	要注目種
51	両生類	トノサマガエル	要注目種
52	両生類	トノサマガエル幼生	要注目種
53	両生類	ナゴヤダルマガエル	絶滅危機増大種

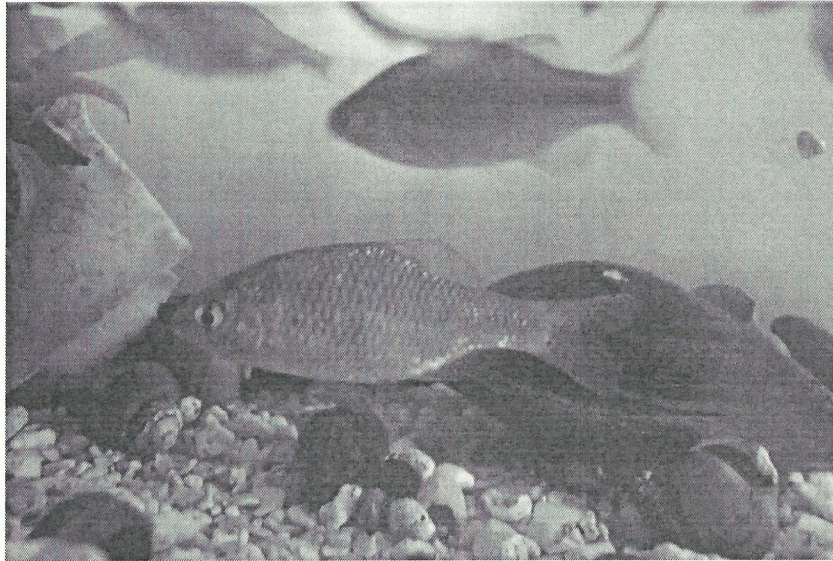
たくさんの生き物が暮らす川

大きくは、上流から流れてくる水の水質により変わるが、

- 陸と水の両方が行き来できる環境
- 生き物にとっての、すみか・隠れが・産卵場所のある環境
- 深さに変化がある環境
 - ・子ども時代に過ごす場所が必要（浅い場所）
- 流れに変化がある環境
 - ・速さの変化
 - ・蛇行する（真っ直ぐではなく、曲がる）



飼育について



- ・自然環境とは違う環境で、長く飼育することのむずかしさ。
- ・十分なエサが準備できるかどうか。
- ・飼育してみないと分からないことがある。